

〇〇PTAの記載例

様式 1

令和 年 月 日

実際に提出する日、投函する日を記入してください。

公益社団法人沖縄県地域振興協会会長 殿

- ・正式な団体名
 - ・申請する団体の代表者氏名
 - ・正確な所在地
- 省略することなく記入してください。

団 体 名 〇〇中学校PTA
申請者（代表者） 沖縄 太郎 (印)

必ず連絡の取れる番号を記入してください。電話番号は必須です。団体の代表者と事業担当者が異なる場合は、担当者の番号も記入してください。

所 在 地 〒900-0000
〇〇市 字〇〇123-45
電 話：代表 098-123-4567 / 担当 060-1234-5678
FAX：098-987-6543
メールアドレス：abcde_fghij.com

令和〇〇年度地域活性化助成事業助成申請書

令和〇〇年度地域活性化助成事業による助成を下記のとおり申請致します。

記

1. 実施事業内容

別添「令和〇〇年度地域活性化助成事業実施計画書」（様式1-2）のとおり

2. 助成申請額

総事業費の90%までの助成で、限度額は45万円。
千円未満は切り捨てて、自己資金額に加算してください。

305,000円

3. 伴走支援を希望 (☒) ・しない ※どちらかに○をつけてください。
※伴走支援にあたり、申請団体の費用負担はありません。

4. 添付書類

- (1) 令和〇〇年度地域活性化助成事業実施計画書〔様式1-2〕
- (2) 事業費内訳書〔様式1-3〕
- (3) 推薦書〔様式1-3〕
- (4) 団体の資料〔概要の記載されたパンフレット等〕

〇〇PTAの記載例

様式1-2

令和〇〇年度地域活性化助成事業実施計画書

団 体 名 〇〇中学校PTA

実施事業名	例) 〇〇キャリア教育×地域連携起業ワークショップ
目的	目的は次のとおりとする。 1. 生徒のキャリア教育、人間形成能力向上につなげる。 ①生徒自身の進路選択に役立つ ②学習意欲の向上（学習の動機付けとなる） ③創造力、企画力の向上 2. 地域と連携する 〇〇市商工会や、関係団体、マスコミ等の協力を得て、長期的なスパンで地域と生徒との連携を図る。
実施時期（期間）	開始は事業着手日、完了はワークショップ等が終わった日を記入。未定の場合はおおよそで結構です。 令和〇〇年8月〇日開始～令和〇〇年11月〇日完了
実施場所	場所が未定の場合はわかる範囲で記入をお願いします。例) 〇〇公民館予定 〇〇中学校
事業費	339,000 円 (様式1-3の事業費合計の金額を記入してください。)
事業の具体的内容	「誰に対して何をどのように」実施するかを、具体的に記入してください。また、事業目的と強い結びつきのある内容にしてください。 中学生に対して、事業をおこす際に必要な①「事業、資金計画」②「プレゼンテーション力」③「広報宣伝力」④「接遇マナー」等のワークショップを、各専門家を招いて開催する。そこに〇〇商工会、関係団体、マスコミ、保護者といった地域の大人も一緒に参加することで意見交換や、アイデアの創出等を図り、理解や交流を深める。 それぞれが作成した事業計画について、グループごとにプレゼン発表会を実施する。講師の審査によって各賞を与え、生徒の学習意欲向上や、創造力、企画力を醸成する。

〇〇PTAの記載例

期待される地域や社会への具体的な効果・成果	事業を実施することにより、「誰に対して、どのような効果が期待できるか」「他の団体の模範となるような特色は何か」等を具体的に記入してください。 沖縄県が抱える問題の中に、「子どもの貧困率の高さ」と「中小企業の倒産率の高さ」があげられるが、〇〇市も例外ではない。これらの問題解決のきっかけとして、本ワークショップを中学生が学校内で受講し、地域の大人達との交流の機会を得られることで問題解消に近づくことが期待される。それによって生徒の学習意欲の向上、進路設定のスピードが増すことによる成績の向上、進学率、進路決定率の向上が見込まれる。 地域の大人と一緒に学ぶことで交流が生まれ学生と社会に連帯意識が芽生える。生徒にとっては未来の社会人としての伊敷が高まり、健全育成に繋がり、大人にとっては中学生の柔軟なアイデアや時代のニーズを知ることが出来、新たな視点が生まれる可能性が高まる。
次年度以降の取り組み(事業の最終目標など)	次年度はPTA会費によって予算を確保し、毎年恒例の行事としての定着を目指す。また、実践の場として地域の企業との連携を取り、校外でも活動できるよう継続していく。将来的には、卒業生がこの活動に協力し、地域連携、キャリア教育のサイクルがより深まり、地域に愛着の精神が広がることを期待する。
伴走支援の希望内容 (希望する場合のみ)	参加できる会員が限られ、役員や委員の担い手が少なくなり、ひとりひとりの負担が増大している。本事業を今後も継続するための、仕組みづくりをサポートいただきたい。

〇〇PTAの記載例

様式1－3

事業費内訳書

事業費合計の90%、限度額450,000円まで。
千円未満は切り捨てて、自己資金に計上してください。

収 入 項 目	金 額 (円)	備 考
助 成 金	305,000	(公社) 沖縄県地域振興協会 地域活性化助成事業助成金
自 己 資 金	34,000	自己負担34,000円
事 業 費 合 計	339,000	

必要に応じて行を追加してください。事業内容に直接関係のある経費について、具体的に記入してください。

支 出 項 目	金 額 (円)	備 考
旅 費	55,000	交通費 @5,000円×11回 ※算出根拠はPTA旅費規則による
謝 金	144,000	講師謝金 〇〇氏 @15,000円×4回 =60,000円 △△氏 @10,000円×4回 =40,000円 ××氏 @10,000円×2回 =20,000円 □□氏 @8,000円×3回 24,000円 ※単価はPTA規則による
使用料及び賃借料	30,000	プロジェクター一式使用料
需用費	90,000	印刷製本費 チラシ @〇円×〇枚=30,000円 消耗品費 60,000円
役務費	20,000	切手代(案内通知) @〇円×〇通=20,000円
その他		
合計	339,000	

この合計と収入項目の事業費合計は必ず一致します。